

Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

Contents!



最近のトピックス

- ★第9回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催しました
- ★名城大学の学生さんが海洋実地研修を行いました
- ★防災訓練を実施しました
- ★衣浦港振興会との合同現地視察会を実施しました
- ★「無人島たんけん～親子で海や生きものにふれあおう!～」が開催されました
- ★「海をきれいにするための奉仕活動」で若戸小学校を表彰しました



最近のトピックス

★第9回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催しました

9月11日、豊橋市内において第9回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会(事務局:三河港湾事務所、愛知県建設部港湾課)を開催しました。

「三河湾部会」では、三河湾において環境改善の課題の一つである「貧酸素水塊※」の抑制に効果が期待できる方策として、干潟・浅場の造成や深堀り跡の修復等についての検討を進めており、平成21年度に設立して以来、今回で9回目の開催となります。

部会長である中田教授(名城大学大学院総合学術研究科)の議事進行のもと、事務局から提案した干潟・浅場造成適地や造成材に関する活発な意見・議論が交わされました。

干潟の造成適地については、調査結果を基に生物が生息しやすい視点から造成場所を検討した結果、水深は-2mより浅い場所が適当という点で一致しました。

今後も引き続き、三河湾の環境改善に向けて検討を進めていきます。

次回の開催は平成25年2月を予定しています。



三河湾部会の様子

※貧酸素水塊(ひんさんすずいかい)とは、海水中に酸素がほとんどなく魚介類が生息できない水域のことをいいます。



★名城大学の学生さんが海洋実地研修を行いました

8月28日、蒲郡市の愛知県水産試験場において、名城大学の学生さんの海洋実地研修が行なわれました。

この研修は学生が現場での体験学習により、環境に対する意識の向上と、海洋環境の実態や保全・改善に係る基礎知識を習得するために開講しています。

当日は波もなく非常に穏やかな現場研修日和でした。

学生達は当事務所の港湾業務艇「しおさい」に乗船し、三河湾の湾奥部及び湾口部で、水質(溶存酸素量)・底質(目視観察)・生物(プランクトン採取)の調査を行いました。また、水産試験場の会議室では港湾の役割や海域環境改善への取り組みを紹介しました。

短い時間の研修でしたが、三河湾の環境や環境改善への取り組みについて理解を深めていただきました。



水質調査の様子

★「無人島たんけん～親子で海や生きものにふれあおう!～」が開催されました

9月1日、西尾市教育委員会の主催で、親子ふれあい活動「無人島たんけん～親子で海や生きものにふれあおう!～」が開催されました。この活動は、西尾市の東幡豆海岸～前島での生き物や植物の観察と、海からふるさとを眺めることにより環境に対する意識を高め、ふるさとにより親しんでもらうことを目的とし、開催されました。前島は干潮時に東幡豆海岸と陸続きになります。東幡豆海岸で干潟が現れるのを待ち、約600m離れた前島に歩いて渡り、干潟や磯場の観察を行いました。子供達は干潟を散策しながら色々な生き物を見つけて楽しんでいました。特にマテガイの採取では、マテガイが潜んでいそうな穴に塩を振りかけてじっと待ち、マテガイが飛び出すと大きな声で喜んでいました。また、港内見学では、船上から幡豆地区の港や自然の様子を見学しました。

当事務所からは、港湾業務艇「しおさい」と職員を講師として派遣いたしました。子供達にとって、夏休み最後の貴重な体験になったと思います。



干潮で東幡豆海岸とつながった前島



海岸を観察する様子

★防災訓練を実施しました

9月5日、職員の意識向上と災害時の迅速な対応を目的として、大規模地震・津波時における初動体制の確保、被災情報等の伝達に関する訓練を実施しました。当事務所は災害本部と連携した情報伝達訓練の他に、事務所独自で通信機器の操作の訓練を行いました。

災害時は通常の通信手段は使用できない事態が想定されるため、衛星電話などの通信機器の操作が重要になると考えられます。操作訓練は、手順を一つ一つ確認しながら、確実に操作できるように取り組みました。これまで、毎月1回を目安に通信機器の操作の訓練を行ってききましたが、今後も災害時に備え一人一人の職員が機器や設備を円滑に使いこなせるように訓練を継続していきます。





★衣浦港振興会との合同現地視察会を実施しました

9月13日、宮城県の仙台塩釜港において、合同現地視察会を実施しました。

当日は、東日本大震災直後より仙台塩釜港の復旧・復興を実施している東北地方整備局 塩釜港湾・空港整備事務所を訪れ、東日本大震災での津波映像を視聴しました。その後、仙台港区や塩釜港区に移動しながら、発災当時の状況、港湾施設やコンテナ等の被災及び復旧状況等の説明を受けながら現地を視察しました。



復旧した仙台港を視察する様子

復旧作業は、大手建設会社と地元企業により確実に進んでいます。国や自治体、港湾利用者との連携の難しさを感じているとのことでした。また、視察後の意見交換では、行政と企業の連携の重要性、港湾での老朽化対策や耐震機能の強化の要望などの意見が交わされました。

★「海をきれいにするための奉仕活動」で若戸小学校を表彰しました

9月24日、田原市立若戸小学校で「海をきれいにするための奉仕活動」の表彰式を行いました。

若戸小学校は、昭和57年から校区をあげて海岸の清掃を継続していて、昨年度は、同活動において三河港湾事務所長表彰を受け、今回は中部地方整備局長からの表彰となりました。

表彰式では、当事務所の宮田所長が中部地方整備局長の代理として若戸小学校の児童会長さんへ表彰状をお渡ししました。

宮田所長は「清掃活動をずっと続けて来たことは素晴らしいことで、他の皆さんの模範となりますので表彰させて頂きました。これからも美しい海が守られるように活動を続けていってください。」と今後の活動への期待を述べました。

この表彰を通して、より多くの方が海をきれいにする活動に興味を持って頂けたらと思います。



表彰状を持って記念撮影



「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所
〒441-8075 愛知県豊橋市神野心願町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.p.cbr.mlit.go.jp>
E-mail info-mikawa@p.cbr.mlit.go.jp